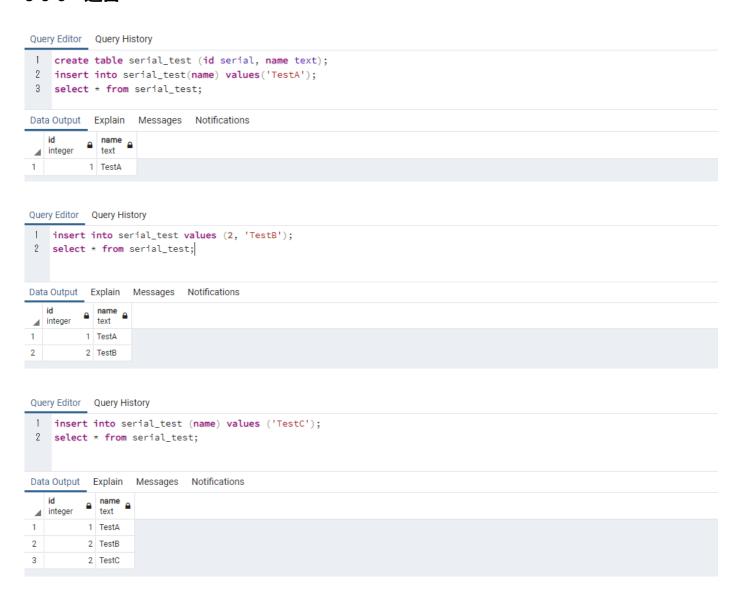
8-3 データ型

8-3-4 日付/時刻

Query Editor		Query History		
1	select	elect current_date - interval '1 day' as interval;		
Data Output Explain		Explain Messages	Notifications	
4	interval timestamp	without time zone		
1	1 2020-12-15 00:00:00			

8-3-6 連番



上記では、まず「TestA」を挿入した際に、自動的に1が追加されている。 最後に挿入したときは、直前にid=2があるため、自動的に連番(2)が割り振られている。

つまり、数字がなければ1を振り、直前に数字があれば連番を振るといった仕組みである。

8-3-7 OID

OIDとはPostgeSQL独自のデータ型で、オブジェクト(テーブルやインデックス など)の識別に用いられるIDである。

selectの列名で指定しないと、見ることはできない。



テーブル名やインデックス名をOIDに変換することも可能である。

下記では、「regclass」というデータ型へのキャストを利用して実行している。



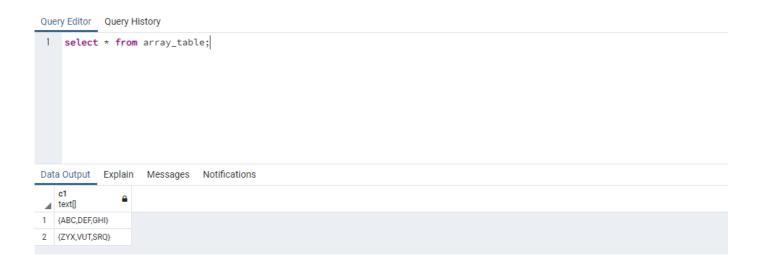
8-3-8 配列



配列の挿入

配列の検索

下と見比べると、配列が1~2までの出力となっている。



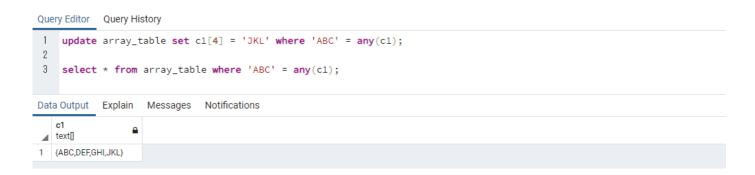


列c1のうち、'ABC'が配列の要素のどれか1つである、という条件をもとに行を検索をする。



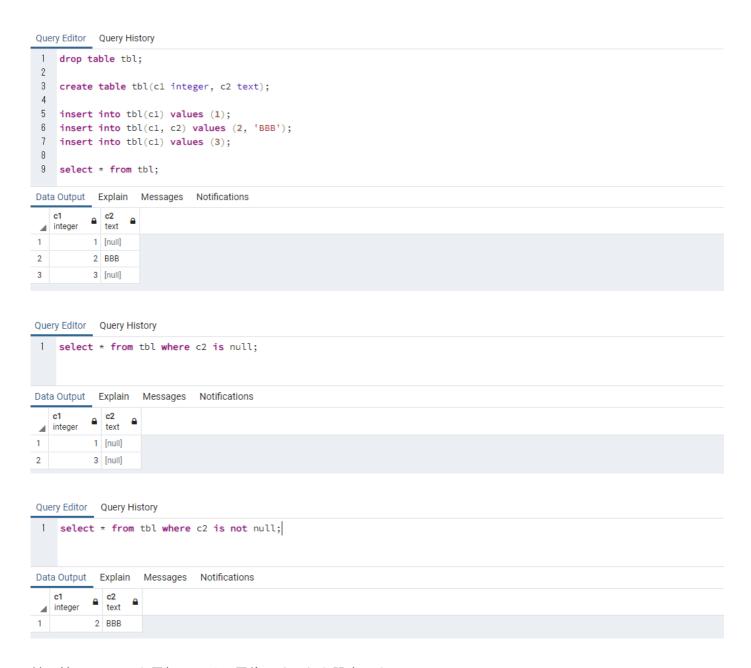
配列の更新

c1に'ABC'を持つ行を指定して、その要素の4番目に'JKL'を追加する。



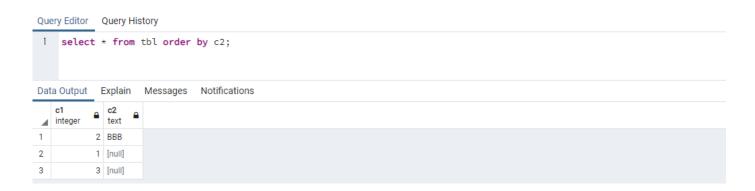
c1に'ABC'を持つ行を指定して、その要素の2番目を'ZZZ'に更新する。

8-3-9 **NULL**

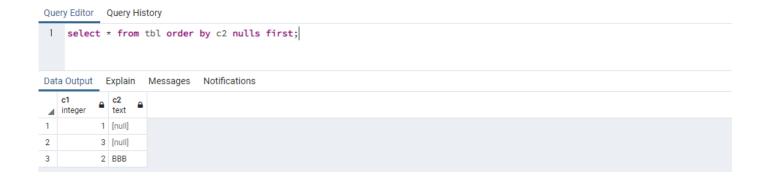


並べ替えでNULLを最初もしくは最後にするかを設定できる。

まずは通常の並べ替えを行う。

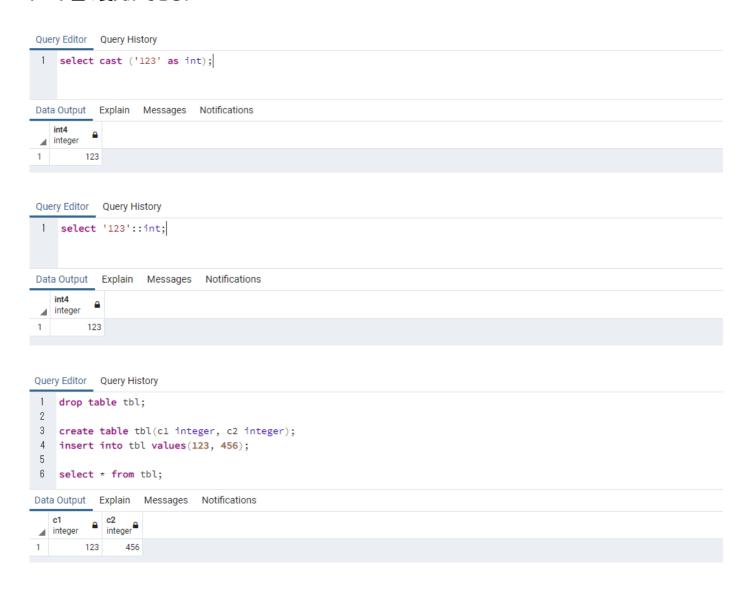


次に、NULLを含んだ並べ替えをする。



8-3-10 キャスト

データ型の変更ができる。



integer型のc1, c2の値をtext型にして、「-」で連結したものを、selectで抽出する。

```
Query Editor Query History

1 select c1::text || '-' || c2::text from tbl limit1;

Data Output Explain Messages Notifications

2 column? text text |
1 123-456
```

